

アスベストは非常に有効な断熱材として近年建築を中心として使用されてきましたが、最近においてその弊害が社会問題化しております。

これからの問題としてはアスベストを使った建築ビルの解体における作業に対してのアスベストの危険性を再度認識する時期に来ております。

アスベストの解体が本格的に始まったのはここ 20 年程前からですが、その当時除去するにあたっての防護服のメインは服が中心であったとマスクは簡易的なマスクを使用されていた為に本来守るべき肺を守るという比しから大きく離れていたのが現実で、漸くアスベスト除去解体に携わる関係者の中で防護服よりもマスクが重要であるという認識が出てきた。その為に服の予算よりもマスクの予算に比重をかけるという傾向が国の指針によって決定されております。

これによって、ある程度感染を予防できる割合が高くなってはおりますが、作業工程の中で現実的にマニュアル通り実行されているとは言い難い現状があります。

これをもう一度見直した中でアスベスト除去に対する防護服の見直しと言うものを進めて参りたいと思います。